

- 【報告事項】 報告 1 : 2025 年度事業報告の件**  
資料 1 : 2025 年度事業報告書
- 【報告事項】 報告 2 : 2026 年度事業計画の件**  
資料 2 : 2026 年度事業計画書
- 【決議事項】 第 1 号議案 : 2025 年度決算の件**  
資料 3 : 貸借対照表  
資料 4 : 正味財産増減計算書  
資料 5 : 財産目録（注記，附属明細書を含む）  
資料 6 : 監査報告書
- 【報告事項】 報告 3 : 2026 年度収支予算書の件**  
資料 7 : 2026 年度収支予算書
- 【決議事項】 第 2 号議案 : 役員選任の件**  
資料 8 : 2026, 2027 年度理事および監事候補

2026 年 6 月 19 日

一般社団法人日本フルードパワーシステム学会

〒 105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5-22  
機械振興会館 別館 102

電話 03-3433-8441  
FAX 03-3433-8442  
E-mail info@jfps.jp

【報告事項】報告1：2025年度事業報告の件

資料1：2025年度事業報告書

2025年4月1日～2026年3月31日

1.1 事業

(1) 集会事業（理事会・企画委員会・基盤強化委員会・国際交流委員会）

事業名	行事名	期日	場所
総会	第44期通常総会	2025. 6. 20	東京(機械振興会館)
講演会	2025年春季フルードパワーシステム講演会 参加者：個人121名，団体 2社 講演数：一般 46件，特別 1件	2025. 6. 19 ～ 6. 20	東京(機械振興会館) オンライン配信
	2025年秋季フルードパワーシステム講演会 参加者：個人119名，団体 1社 講演数：一般 52件，特別 1件	2025. 12. 4 ～ 12. 5	徳島(徳島大学)
	第7回日中韓ジョイントワークショップ 参加者：41名（うち、中国3、韓国12） 講演数：9件（うち、日本3、中国3、韓国3）	2025. 6. 18	東京(機械振興会館)
セミナー	2025年春季講演会併設セミナー 「磁気機能性流体の基礎と応用」 参加者：個人30名，団体 4社	2025. 6. 19	東京(機械振興会館) オンライン配信
	2025年度オータムセミナー 「フルードパワーを支える最新の制御理論」 参加者：個人23名，団体 4社	2025. 10. 28	オンライン
	2025年度ウィンターセミナー 「フルードパワーシステムへのIoT活用 およびDX推進の基礎技術」 参加者：個人12名，団体3社	2026. 3. 13	オンライン
	空気圧実習基礎講座（学生対象） 参加者：8名	2025. 10. 17	東京（法政大学）
	キャリア支援セミナー 参加者（学生）： 第1回12名，第2回13名，第3回17名	2025. 12. 17 2026. 1. 15 2026. 1. 22	オンライン
研修会	フルードパワーシステム特別研修会 参加者：計10名（うち、企業：6社 6名）	2025. 10. 21 2025. 12. 19 2026. 1. 30 2026. 3. 5	法政大学 横浜国立大学 オンライン 東京科学大学

(2) 研究委員会（企画委員会・基盤強化委員会）

1) 空気圧機器システム特性に関する基盤研究委員会

・委員長：香川利春，期間：2024年4月～2026年3月（継続），2025年度開催：1回

2) 機能性流体スマートフルードパワーシステムに関する基盤研究委員会

・委員長：中野政身，期間：2025年4月～2027年3月（新設），2025年度開催：2回

3) 社会課題解決に貢献する革新的フルードパワーシステムに関する研究委員会

・委員長：小林亘，期間：2025年4月～2027年3月（新設），2025年度開催：2回

(3) 会誌（編集委員会）

	Vol.	No.	発行年月日
会誌「フルードパワーシステム」	56	3	2025. 5. 15
		4	7. 15
		E1	8. 15（電子版）
		5	9. 15
	57	6	11. 15
		1	2026. 1. 15
		2	3. 15
発行数	電子出版を含め7回発行，毎号1450部		

(4) 研究論文（論文集委員会）

	和文/英文誌の別	投稿論文 受付件数	論文集 掲載済	掲載待ち	校閲中	返却
2024年度	和文誌	5	1	1	0	3
	英文誌	25	2	1	22	0
2025年度	和文誌	3	3	0	0	1
	英文誌	6	15	12	0	2

(5) 表彰（表彰委員会）

1) 2024年度日本フルードパワーシステム学会賞

①学術論文賞

「斜軸式アキシアルピストンモータにおけるピストンリングのシール特性と合口部からの漏れ流量予測」

矢内柁平・藤井智哉・京極啓史（東京工業大学）

山本浩（株式会社小松製作所）

菊池雅男・田中真二（東京工業大学）

②技術開発賞

「スプール式水圧用切換弁」

下山弘高・牧田拓也・杉村健（NACOL株式会社）

「空気圧駆動による力覚フィードバック機能を有する手術支援ロボット」

只野耕太郎（リバーフィールド株式会社）

③技術功労賞：張本護平（SMC株式会社）

④学術貢献賞：川上幸男（芝浦工業大学）

2) 2024年度SMC高田賞

「Precise Position Control for General-purpose Rotary Type Pneumatic Actuators for Various Types of References」

Lim Wen Chiang（徳島大学）

「Concurrent Learning に基づく水圧人工筋の線形近似モデルと適応変位制御」

鶴原理司（芝浦工業大学）

3) 2024年度油空圧機器技術振興財団顕彰

「デジタル油圧の建設機械向けパイロット元圧回路への応用に関する研究」

名倉忍・眞田一志（横浜国立大学）

柳田悠太（株式会社小松製作所）

4) 名誉員

早川恭弘（奈良工業高等専門学校）

5) フェロー

浅野哲史 (本田技研工業株式会社)  
 眞田一志 (横浜国立大学)  
 中山晃 (日立建機株式会社)

6) 最優秀講演賞

①2024年春季講演会最優秀講演賞

- ・学生 部門：鶴原理司 (芝浦工業大学), 阿部悠人 (横浜国立大学)
- ・社会人部門：Lim Wen Chiang (徳島大学), 大野 信吾 (株式会社ブリヂストン)

②2025年秋季講演会最優秀講演賞

- ・学生 部門：小杉彩加 (芝浦工業大学), 渡邊悠希 (東京大学)
- ・社会人部門：Lim Wen Chiang (徳島大学)

1. 2 会議及び委員会活動

会議名	回数	備考
通常総会 (第44期)	1回	2025. 6. 20開催 (対面)
理事会	6回	ハイブリッド, 書面審議
委員長会議	5回	オンライン
評議員会	1回	2026. 3. 27開催 (対面)
各委員会		
庶務委員会	3回	書面審議
会計委員会	2回	書面審議
編集委員会	6回	ハイブリッド
企画委員会	6回	ハイブリッド, オンライン, 書面審議
基盤強化委員会	3回	オンライン
論文集委員会	4回	オンライン, 書面審議
出版委員会	—	審議必要案件なし
表彰委員会	1回	書面審議
情報システム委員会	3回	オンライン
国際交流委員会	3回	書面審議
国際シンポジウム実行委員会	4回	オンライン, 現地視察
※ハイブリッド：対面+オンライン		

(1) 会議

1) 通常総会

2024年度事業報告、2025年度事業計画、2024年度決算、2025年度収支予算書について審議するとともに、2024年度学会賞の表彰を行った。

2) 理事会

各担当理事からの提案事項、各委員会活動計画・報告内容、基盤強化に関する事項などを審議した。

3) 委員長会議

理事会開催の前月に開催し、各委員会活動の調整および理事会に諮る議題を検討した。

4) 評議員会

2025年度の評議員会を開催し、学会活動における諸問題について討議した。

5) 各委員会

①庶務委員会

- ・事務局職員の給与、賞与の策定、規程類の改訂審議、次期事務局長の選任、その他適宜施策を策定し実施した。

②会計委員会

- ・財務の管理・運営、決算書・予算書などの作成、会計監査などを適宜実施した。

③編集委員会

- ・学会誌の特集の企画立案および編集作業を実施した。
- ・発行後1年を経過した会誌記事をホームページで公開するとともに、J-STAGE及び学術情報データベースのEBSCO-hostへの掲載を実施した。

- ④企画委員会
  - ・講演会、セミナーなどの集会事業を企画・実施するとともに、オンライン開催可能な環境整備を行い、講演会の動画配信、オンラインによるセミナーを開催した。
  - ・研究委員会などの研究調査事業を基盤強化委員会と連携して企画し、実施した。
- ⑤基盤強化委員会
  - ・学会の会員増強、財務強化のための施策を企画立案した。
  - ・昨年度に引き続き、賛助会員企業と学校関係者を結ぶ「キャリア支援セミナー」を企画し、3回開催した。
  - ・フェローの推薦・認定を行った。
- ⑥論文集委員会
  - ・論文集への投稿論文等の校閲の運営・管理を実施した。
  - ・J-STAGE 上に和文論文集 2 編(レター)、英文論文集 15 編(JFPS 広島国際学会論文からの推薦論文)を公開した。
  - ・新設したレター (4 ページ) の特集号を企画し、2026 年 4 月末締切で募集中である。
  - ・2026 年 7 月 1 日より、英語論文のページ数を 8~12 ページに増やし、それに伴い掲載料を 70,000 円 (8 ページの場合) に改訂、論文が 8 ページを超える場合は、1 ページ毎 10,000 円を加算することを提案し、理事会で承認された。
- ⑦出版委員会
  - ・会誌や論文集など他の委員会が所掌する出版物以外の出版に関する事業の企画立案を実施した。
- ⑧表彰委員会
  - ・学会賞各賞の募集・選考・表彰、名誉員の推挙、他団体の顕彰への推薦などを実施した。
- ⑨情報システム委員会
  - ・学会に関する情報公開を充実させるため、ホームページの充実と更新、保守管理、情報セキュリティ確保に関連した整備を実施した。
  - ・各委員会の情報保管・共有化のために、市販オンラインアプリ (Microsoft Teams) を活用した「JFPS 情報共有ツール」を構築し運用を開始した。
- ⑩国際交流委員会
  - ・第 7 回日中韓ジョイントワークショップを開催した。
  - ・日中若手研究者交流事業は、2025 年秋季講演会に中国から研究者を招聘すべく準備を進めていたが、直前の政治的情勢により急遽キャンセルとなった。
- ⑪国際シンポジウム実行委員会
  - ・第 13 回 JFPS フルードパワー国際シンポジウム姫路 2027 を「アクリエひめじ」にて開催すべく、実行委員会にて計画を進めた。
  - ・会場視察、各種アナウンス、Abstract の募集等を適宜実施した。

(2) 寄付金

①一般寄付金振込額

5,000,000円 (SMC株式会社, 2025年2月28日)

(3) 会員状況

種別	2025年4月1日時点 会員数	2026年3月31日時点		【参考】'26/4/1 時点 会員数
		会員数	'25/4/1比	
正会員(注)	776名(注1)	787名(注2)	+11名	747名(注3)
賛助会員	122社 (279口)	118社 (274口)	-4社 (-5口)	115社 (271口)
学生会員	106名	102名	-4名	71名

(注) 正会員の内訳：

- ・(注1) 名誉会員：4名、名誉員：13名、シニア員：67名、ジュニア員：89名、を含む
- ・(注2) 名誉会員：4名、名誉員：14名、シニア員：68名、ジュニア員：106名、を含む
- ・(注3) 名誉会員：4名、名誉員：14名、シニア員：58名、ジュニア員：95名、を含む

【報告事項】報告 2：2026年度事業計画の件

資料 2：2026年度事業計画書

2026年 4月 1日 ～ 2027年 3月31日

2. 1 事業

(1) 集会事業（理事会・企画委員会・基盤強化委員会）

事業名	行事名	期日	場所
総会	第45期通常総会	2026. 6. 19	東京(機械振興会館)
講演会	2026年春季 フルードパワーシステム講演会	2026. 6. 18 ～ 6. 19	東京(機械振興会館) オンライン配信
	2026年秋季 フルードパワーシステム講演会	2026. 11. 26 ～ 11. 27	大阪 (エブノ泉の森ホール) オンライン配信
セミナー	2026年春季講演会併設セミナー	2026. 6. 18	東京(機械振興会館) オンライン配信
	2026年度オータムセミナー	2026. 10	オンライン
	2026年度ウィンターセミナー	2027. 3	オンライン
	空気圧実習基礎講座（学生対象）	2026. 9. 15	東京（機械振興会館）
	キャリア支援セミナー	別途設定	オンライン
研修会	フルードパワーシステム特別研修会	4～5回開催	東京近郊 オンライン

(2) 研究委員会（企画委員会・基盤強化委員会）

- 1) 空気圧機器システム特性に関する基盤研究委員会（第2期）
  - ・委員長：香川 利春，期間：2026年4月～2028年3月（延長），2026年度開催予定：2～3回
- 2) 機能性流体スマートフルードパワーシステムに関する基盤研究委員会
  - ・委員長：中野 政身，期間：2025年4月～2027年3月（継続），2026年度開催予定：3～4回
- 3) 社会課題解決に貢献する革新的フルードパワーシステムに関する研究委員会
  - ・委員長：小林 亘，期間：2025年4月～2027年3月（継続），2026年度開催予定：2～4回
- 4) OHC-Sim 特別研究委員会（第23期）
  - ・委員長：桜井 康雄，期間：2026年4月～2027年3月（再開），2026年度開催予定：2～4回

- (3) 学会誌・論文集
  - ・学会誌「フルードパワーシステム」を、電子出版号を含めて年7号刊行する。
  - ・「日本フルードパワーシステム学会論文集」,「JFPS International Journal of Fluid Power System」を、適宜 J-STAGE に掲載する。
  - ・Vol. 18(2025) Issue 1 で英文論文掲載数が 10 編以上となったことから、JST を通して DOAJ に採録申請を進める。
- (4) 出版物
  - ・フルードパワーシステム講演会の講演論文集、セミナーのテキストを電子出版する。
  - また、研究委員会の研究成果報告書を適宜出版する。
- (5) 表彰
  - ・学会賞（学術論文賞、学術貢献賞、技術開発賞、技術功労賞、最優秀講演賞）、SMC 高田賞、名誉員の推挙、他団体の顕彰への推薦などの募集、選考、表彰を実施する。
- (6) 他学協会との共催、協賛
  - ・「フルードパワーシステム講演会」、オータムセミナー、ウィンターセミナー、その他企画事業について関連団体へ共催・協賛を積極的に要請する。同じく、関連団体よりの共催・協賛要請に適宜対応する。
- (7) 学会 IT 環境整備事業
  - ・会員へのサービス向上のため IT 環境の整備、特に HP を逐次更新し、最新情報を担保する。
- 8) 国際交流事業
  - ・日中若手研究者交流事業にて、若手研究者を中国に派遣する。
  - ・13 回 JFPS フルードパワー国際シンポジウム姫路 2027 の開催準備を進める。
- (9) 産・学共同研究事業
  - ・日本フルードパワー工業会と共同し、関連情報の収集、テーマの設定、研究開発の概要などを検討する。

## 2. 2 会議及び各委員会の活動計画

- (1) 通常総会
  - ・第 45 期通常総会を開催する（6 月 19 日開催予定）。
- (2) 理事会
  - ・担当理事からの提案事項、各委員会活動計画・報告内容、基盤強化に関する事項などを審議する（年 5 回程度開催予定）。
- (3) 委員長会議
  - ・各委員会活動の調整および理事会に諮る議題を検討する（年 5 回程度開催）
- (4) 評議員会
  - ・学会活動における諸問題について討議する（年 1 回開催）
- (5) 各委員会
  - ①庶務委員会
    - ・組織、定款・細則・諸規程整備、渉外・人事などに関する策定と実施。（適宜開催）
  - ②会計委員会
    - ・財務の管理・運営、決算書・予算書等の作成、年度末の会計監査の実施、毎月の予算管理および半期ごとの予算執行状況報告。（適宜開催）
  - ③編集委員会
    - ・学会誌の特集の企画立案および編集、新トピックス記事の検討。（年 6 回程度開催）
  - ④企画委員会
    - ・講演会、セミナーなどの集会事業の企画策定と実施、研究委員会や特別研究委員会等の研究、調査事業の基盤強化委員会との連携による企画、運営。（年 6 回程度開催）
  - ⑤基盤強化委員会
    - ・学会会員増強、財務基盤強化のための施策の企画立案と実施。FPS 特別研集会などの若手技術者の研修事業の企画と実施。賛助会員企業と学校関係者を結ぶ「キャリア支援セミナー」の企画と実施。基盤研究委員会等の研究、調査事業の企画委員会との連携による企画、運営。フェローの推薦。（年 4 回程度開催）
  - ⑥論文集委員会
    - ・和文・英文論文集への投稿論文などの校閲の運営・管理、J-STAGE での公開。（適宜開催）

- ⑦出版委員会
  - ・会誌や論文集など他の委員会が所掌する出版物以外の出版に関する事業の企画立案および編集. (適宜開催)
- ⑧表彰委員会
  - ・学会賞等の各賞の募集・選考・表彰, 名誉員の推挙, 他団体の顕彰への推薦 (適宜開催)
- ⑨情報システム委員会
  - ・情報の充実化策定と実施, 学会誌・講演論文集等の電子化および公開, 学会 IT 関連整備, ホームページの充実化と管理・運営. (年 4 回程度開催)
- ⑩国際交流委員会
  - ・中国との交流のため, 若手研究者を派遣する. (適宜開催)
- ⑪国際シンポジウム実行委員会
  - ・第 13 回 JFPS フルードパワー国際シンポジウム姫路 2027 の開催準備を進める. (適宜開催)

【決議事項】第1号議案：2025年度決算の件

資料3：貸借対照表

2026年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度(2025)	前年度(2024)	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	51,775,292	63,206,751	△ 11,431,459
未収金	50,000	80,000	△ 30,000
流動資産合計	51,825,292	63,286,751	△ 11,461,459
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当預金	2,259,191	5,259,191	△ 3,000,000
情報システム運営基金	5,000,000	5,000,000	0
国際交流事業運営基金預金	7,586,511	7,586,511	0
国際シンポジウム運営基金預金	11,253,505	11,253,505	0
産学共同研究基金預金	6,866,252	6,866,252	0
出版事業基金預金	2,574,574	2,574,574	0
フルードパワーシステム技術基金	5,000,000	5,000,000	0
特定資産合計	40,540,033	43,540,033	△ 3,000,000
(2) その他固定資産			
リース資産	3,788,730	5,034,810	△ 1,246,080
電話加入権	38,441	38,441	0
敷金	3,163,800	3,163,800	0
その他固定資産合計	6,990,971	8,237,051	△ 1,246,080
固定資産合計	47,531,004	51,777,084	△ 4,246,080
資産合計	99,356,296	115,063,835	△ 15,707,539
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	449,797	405,046	44,751
前受金	49,000	5,011,000	△ 4,962,000
前受会費	14,222,700	14,398,500	△ 175,800
預り金	111,998	104,706	7,292
未払法人税等	70,000	161,200	△ 91,200
流動負債合計	14,903,495	20,080,452	△ 5,176,957
2. 固定負債			
リース債務	3,788,730	5,034,810	△ 1,246,080
退職給付引当金	4,224,000	5,259,191	△ 1,035,191
固定負債合計	8,012,730	10,294,001	△ 2,281,271
負債合計	22,916,225	30,374,453	△ 7,458,228
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 一般正味財産	76,440,071	84,689,382	△ 8,249,311
(うち特定資産への充当額)	(38,280,842)	(38,280,842)	(0)
正味財産合計	76,440,071	84,689,382	△ 8,249,311
負債及び正味財産合計	99,356,296	115,063,835	△ 15,707,539

## 資料4：正味財産増減計算書

2025年 4月 1日 ～ 2026年 3月31日

(単位：円)

科 目	当年度(2025)	前年度(2024)	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	52,922	8,864	44,058
特定資産受取利息	52,922	8,864	44,058
受取会費	21,782,000	22,264,008	△ 482,008
正会員会費収入	5,386,000	5,488,008	△ 102,008
賛助会員会費収入	16,200,000	16,560,000	△ 360,000
学生会員会費収入	196,000	216,000	△ 20,000
受取参加料	5,711,510	22,413,520	△ 16,702,010
春季講演会収入	2,290,000	2,566,000	△ 276,000
秋季講演会収入	1,894,510	-	1,894,510
オータムセミナー収入	439,000	516,000	△ 77,000
ウインターセミナー収入	335,000	470,000	△ 135,000
FPS 特別研修会収入	400,000	200,000	200,000
国際シンポジウム収入	-	18,661,520	△ 18,661,520
国際交流事業収入	353,000	-	353,000
受取販売料	665,133	462,888	202,245
学会誌頒布収入	269,756	287,131	△ 17,375
諸資料頒布及び著作権料収入	211,377	175,757	35,620
OHC-Sim 販売料	184,000	-	184,000
受取掲載料	463,500	458,500	5,000
論文掲載料収入	463,500	458,500	5,000
受取広告料	1,333,200	1,278,200	55,000
広告料収入	1,333,200	1,278,200	55,000
受取出展料	-	110,000	△ 110,000
IFPEX 展示収入	-	110,000	△ 110,000
受取補助金等	44,790	500,000	△ 455,210
国際シンポジウム	15,000	500,000	△ 485,000
秋季講演会	29,790	-	29,790
受取寄付金	5,000,000	10,300,000	△ 5,300,000
国際シンポジウム	-	5,300,000	△ 5,300,000
その他	5,000,000	5,000,000	0
雑収益	98,018	40,620	57,398
普通預金利息	79,379	27,481	51,898
雑収益	18,639	13,139	5,500
経常収益計	35,151,073	57,836,600	△ 22,685,527
(2) 経常費用			
会誌事業費	5,978,883	5,052,811	926,072
会議費	719,995	374,588	345,407
諸謝金費	381,600	382,565	△ 965
印刷製本費	2,506,569	2,745,749	△ 239,180
通信運搬費	725,170	665,916	59,254
編集業務委託費	1,614,639	879,318	735,321
支払手数料	30,910	4,675	26,235
企画事業費	3,891,450	1,964,046	1,927,404
会議費	464,799	295,701	169,098
春季講演会開催費	1,522,219	1,200,705	321,514
秋季講演会開催費	1,472,984	30,074	1,442,910
オータムセミナー開催費	112,720	91,188	21,532
ウインターセミナー開催費	318,728	346,378	△ 27,650

(単位：円)

科 目	当年度(2025)	前年度(2024)	増 減
研究委員会事業費	100,660	136,252	△ 35,592
機能性流体研究委員会	—	100,660	△ 100,660
トライボロジー基盤研究委員会	—	11,632	△ 11,632
深層学習研究委員会	—	23,960	△ 23,960
機能性流体スマートFPS 基盤研究委員会	100,660	—	100,660
特別研修会事業費	182,466	254,172	△ 71,706
FPS 特別研修会事業費	182,466	254,172	△ 71,706
表彰事業費	380,423	245,304	135,119
表彰費	380,423	245,304	135,119
情報関連事業費	1,434,783	1,293,825	140,958
保守費	1,137,731	396,744	740,987
回線使用料・ドメイン管理費など	149,142	147,975	1,167
IT環境整備費	38,240	639,766	△ 601,526
サーバー保守費	109,670	109,340	330
国際交流事業費	1,446,646	508,721	937,925
国際交流事業費	1,446,646	508,721	937,925
論文集事業費	1,668,460	507,448	1,161,012
会議費	0	129,915	△ 129,915
論文集公開経費 (J-STAGE)	1,668,460	377,533	1,290,927
出版事業費	—	—	—
国際シンポジウム開催費	225,541	12,030,992	△ 11,805,451
開催費	—	12,030,672	△ 12,030,672
準備費	225,541	320	225,221
IFPEX 開催費	0	44,660	△ 44,660
IFPEX 開催費	0	44,660	△ 44,660
OHC-Sim 事業費	304,604	—	304,604
OHC-Sim 特別研究	304,604	—	304,604
基盤強化事業費	39,930	400,580	△ 360,650
会議費	0	400,580	△ 400,580
活動費	39,930	—	39,930
管理費	27,669,651	23,909,292	3,760,359
給料手当	12,804,500	12,247,035	557,465
福利厚生費	2,656,105	2,219,878	436,227
会議費	1,003,382	1,423,017	△ 419,635
旅費交通費	427,093	188,960	238,133
通信運搬費	516,456	274,808	241,648
什器備品費	119,186	93,288	25,898
消耗品費	62,165	135,588	△ 73,423
賃貸料	3,610,416	3,610,416	0
諸謝金	1,030,700	1,057,840	△ 27,140
支払手数料	132,836	144,749	△ 11,913
他団体参加費	97,555	97,928	△ 373
租税公課	0	2,700	△ 2,700
退職給付費用	3,656,809	995,315	2,661,494
減価償却費	1,246,080	1,195,590	50,490
雑費	306,368	222,180	84,188
経常費用計	43,323,497	46,348,103	△ 3,024,606
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 8,172,424	11,488,497	△ 19,660,921
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 8,172,424	11,488,497	△ 19,660,921

(単位：円)

科 目	当年度(2025)	前年度(2024)	増 減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前一般正味財産増減額	△ 8,172,424	11,488,497	△ 19,660,921
法人税、住民税及び事業税	76,887	166,594	△ 89,707
当期一般正味財産増減額	△ 8,249,311	11,321,903	△ 19,571,214
一般正味財産期首残高	84,689,382	73,367,479	11,321,903
一般正味財産期末残高	76,440,071	84,689,382	△ 8,249,311
Ⅱ 正味財産期末残高	76,440,071	84,689,382	△ 8,249,311

## 資料5：財産目録

2026年 3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額		
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	47,437	
	預金	普通預金		45,987,046	
		新生銀行本店	運転資金として	262,797	
		りそな銀行赤坂支店	運転資金として	415,018	
		みずほ銀行新橋支店	運転資金として	6,438,042	
		三井住友銀行日比谷支店	運転資金として	15,353,530	
		ゆうちょ銀行	運転資金として	22,902,251	
		郵便振替	運転資金として	615,408	
		定期預金		5,740,809	
		ゆうちょ銀行	運転資金として	740,809	
		みずほ銀行	運転資金として	5,000,000	
未収金			50,000		
	会員	セミナー参加料	50,000		
流動資産合計			51,825,292		
(固定資産)	特定資産	退職給付引当預金	定期預金	退職給付の準備金	2,259,191
			ゆうちょ銀行		2,259,191
		情報システム運営基金	定期預金	情報システム運営のための基金	5,000,000
			新生銀行本店		5,000,000
		国際交流事業運営基金預金	定期預金	国際交流事業運営のための基金	7,586,511
			みずほ銀行新橋支店		7,586,511
		国際シンポジウム運営基金預金	定期預金	シンポジウム事業運営のための基金	11,253,505
			りそな銀行赤坂支店		11,253,505
		産学共同研究基金預金	定期預金	調査研究事業運営のための基金	6,866,252
			りそな銀行赤坂支店		6,866,252
	出版事業基金預金	定期預金	会誌事業運営のための基金	2,574,574	
		三井住友銀行日比谷支店		2,574,574	
	フルードパワーシステム技術基金	定期預金	フルードパワーシステム技術のための基金	5,000,000	
		新生銀行本店		5,000,000	
	その他 固定資産	リース資産	東京都港区芝公園 三丁目5番22号	事務所使用の機器	3,788,730
			同上	事務所使用の複合機	1,829,520
			同上	事務所使用のUTM	645,480
			同上	事務所使用の電話主装置	633,600
			同上	事務所使用のパソコン	427,680
	同上	同上	252,450		
電話加入権	東京都港区芝公園 三丁目5番22号	事務所使用の電話	38,441		
敷金	東京都港区芝公園 三丁目5番22号	事務所の敷金	3,163,800		
固定資産合計			47,531,004		
資産合計			99,356,296		

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動負債)			
未払金			449,797
	堀井公認会計士事務所 久保田浩 (株)HIRANO (株)ジェイエフエス 伊藤和寿 鶴原理司	税理士顧問料 業務委託費 備品等使用料 食事代 出張費用 同上	42,460 11,000 72,765 216,590 58,058 48,924
前受金			49,000
	正会員	2026年度の春季講演会参加費	49,000
前受会費			14,222,700
	学生会員 賛助会員 2026年度正会員 2027年度正会員 2028年度正会員 2029年度正会員 2030年度正会員 2031年度正会員 2032年度正会員 2033年度正会員 2034年度正会員 2035年度正会員 2036年度正会員	学生会員の受取会費前受分 賛助会員の受取会費前受分 2026年度の正会員会費 2027年度の正会員会費 2028年度の正会員会費 2029年度の正会員会費 2030年度の正会員会費 2031年度の正会員会費 2032年度の正会員会費 2033年度の正会員会費 2034年度の正会員会費 2035年度の正会員会費 2036年度の正会員会費	6,000 11,820,000 2,314,000 26,700 16,000 8,000 8,000 4,000 4,000 4,000 4,000 4,000 4,000
預り金			111,998
	給与 報酬 士業報酬 住民税	2026年1月～3月分の源泉所得税 2026年3月分の源泉所得税 2026年1月～3月分の源泉所得税 2026年3月分の住民税	36,860 16,373 16,365 42,400
未払法人税等		2025年度の法人税、住民税及び事業税	70,000
流動負債合計			14,903,495
(固定負債)			
リース債務	東京都港区芝公園 三丁目5番22号	事務所使用の機器	3,788,730
	同上	事務所使用の複合機	1,829,520
	同上	事務所使用のUTM	645,480
	同上	事務所使用の電話主装置	633,600
	同上	事務所使用のパソコン	427,680
	同上	同上	252,450
退職給付引当金		職員に対する退職金の支払いに備えたもの	4,224,000
固定負債合計			8,012,730
負債合計			22,916,225
正味財産			76,440,071

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 引当金の計上基準

職員の退職金支給に備えるため、退職金規程に基づく期末要支給額を計上している。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

##### ①リース資産

所有権移転外ファイナンス・リースに係るリース資産

リース期間定額法によっている。

#### (3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

### 2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当預金	5,259,191	0	3,000,000	2,259,191
情報システム運営基金	5,000,000	0	0	5,000,000
国際交流事業運営基金預金	7,586,511	0	0	7,586,511
国際シンポジウム運営基金預金	11,253,505	0	0	11,253,505
産学共同研究基金預金	6,866,252	0	0	6,866,252
出版事業基金預金	2,574,574	0	0	2,574,574
フルードパワーシステム技術基金	5,000,000	0	0	5,000,000
小 計	43,540,033	0	3,000,000	40,540,033
合 計	43,540,033	0	3,000,000	40,540,033

### 3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正 味財産からの 充当額)	(うち一般正 味財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
退職給付引当預金	2,259,191	(0)	(0)	(2,259,191)
情報システム運営基金	5,000,000	(0)	(5,000,000)	(0)
国際交流事業運営基金預金	7,586,511	(0)	(7,586,511)	(0)
国際シンポジウム運営基金預金	11,253,505	(0)	(11,253,505)	(0)
産学共同研究基金預金	6,866,252	(0)	(6,866,252)	(0)
出版事業基金預金	2,574,574	(0)	(2,574,574)	(0)
フルードパワーシステム技術基金	5,000,000	(0)	(5,000,000)	(0)
小 計	40,540,033	(0)	(38,280,842)	(2,259,191)
合 計	40,540,033	(0)	(38,280,842)	(2,259,191)

### 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
リース資産	6,230,400	2,441,670	3,788,730
合 計	6,230,400	2,441,670	3,788,730

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高  
 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期増加額	当期減少額	当期末 残高	貸借対 照表上 の記載 区分
コンベンション視察経費補助制度	姫路観光コンベンションビューロー	0	15,000	15,000	0	—
コンベンション視察経費補助制度	泉佐野コンベンションビューロー	0	29,790	29,790	0	—
合 計		0	44,790	44,790	0	

### 附属明細書

1. 特定資産の明細

特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載しているため附属明細書での記載を省略している。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	5,259,191	3,656,809	4,692,000	0	4,224,000

# 資料6：監査報告書

## 監査報告

2026年4月28日

一般社団法人 日本フルードパワーシステム学会  
会長 田中 豊 殿

一般社団法人 日本フルードパワーシステム学会

監事 吉田 和弘

監事 松村 和宣

監事 吉成 孝正



私たち監事は、2025年4月1日から2026年3月31日までの第44期事業年度の理事の職務執行状況を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

### 1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、事務局において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る財務諸表等（貸借対照表、内訳表を含む正味財産増減計算書、財産目録、財務諸表に対する注記）及びその附属明細書について検討しました。

### 2. 監査の結果

#### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく、示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

#### (2) 財務諸表等及びその附属明細書の監査結果

財務諸表等及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

【報告事項】 報告 3 : 2026年度収支予算の件

資料 7 : 2026年度収支予算書

2026年 4月 1日 ~ 2027年 3月31日

(単位 : 円)

科 目	2026 年度
(1) 経常収益	
特定資産運用益	0
受取会費	23,683,000
正会員会費収入	5,727,000
賛助会員会費収入	17,732,000
学生会員会費収入	224,000
受取参加料	5,867,000
春季講演会収入	2,507,000
秋季講演会収入	2,074,000
オータムセミナー収入	481,000
ウィンターセミナー収入	367,000
FPS 特別研修会収入	438,000
受取販売料	628,000
学会誌頒布収入	296,000
諸資料頒布及び著作権料収入	232,000
OHC-Sim 販売収入	100,000
受取掲載料	508,000
論文掲載料収入	508,000
受取広告料	1,460,000
広告料収入	1,460,000
受取出展料	0
受取補助金等	17,000
国際シンポジウム	17,000
受取寄付金	5,000,000
企業寄付金等	5,000,000
雑収益	0
経常収益計	37,163,000
(2) 経常費用	
会誌事業費	5,409,000
会議費	651,000
諸謝金費	345,000
印刷製本費	2,269,000
通信運搬費	656,000
編集業務委託費	1,461,000
支払手数料	27,000
企画事業費	3,521,000
会議費	420,000
春季講演会開催費	1,378,000
秋季講演会開催費	1,333,000
オータムセミナー開催費	102,000
ウィンターセミナー開催費	288,000

(単位：円)	
科 目	2026 年度
研究委員会事業費	500,000
空気圧機器システム特性基盤研究委員会	200,000
機能性流体スマートフルードパワーシステム基盤研究委員会	100,000
社会課題解決に貢献する革新的フルードパワーシステム研究委員会	200,000
特別研修会事業費	165,000
FPS 特別研修会開催費	165,000
表彰事業費	344,000
表彰費	344,000
情報関連事業費	1,298,000
保守費	1,030,000
回線使用料・ドメイン管理費など	135,000
IT 環境整備費	34,000
サーバー保守費	99,000
国際交流事業費	320,000
国際交流事業費	320,000
論文集事業費	1,510,000
論文集公開経費 (J-STAGE)	1,510,000
出版事業費	0
国際シンポジウム費	204,000
準備費	204,000
OHC-Sim 事業費	275,000
OHC-Sim 特別研究	275,000
基盤強化事業費	36,000
活動費	36,000
管理費	23,581,000
給料手当	12,480,000
福利厚生費	2,404,000
会議費	908,000
旅費交通費	386,000
通信運搬費	467,000
什器備品費	107,000
消耗品費	56,000
賃貸料	3,269,000
諸謝金	933,000
支払手数料	120,000
他団体参加費	88,000
退職給付費用	937,000
減価償却費	1,128,000
雑費	298,000
経常費用計	37,163,000
当期経常増減額	0

【決議事項】第2号議案：役員選任の件

資料8：2026、2027年度理事および監事候補

理 事	赤木 徹也	岡山理科大学 情報理工学部 学部長・教授	重任
	伊藤 和寿	芝浦工業大学 システム理工学部 教授	重任
	伊藤 隆	カヤバ株式会社 技術本部 先進技術研究所 所長	重任
	奥平 宏行	SMC株式会社 技術研究部 部長	重任
	加藤 友規	法政大学 理工学部 機械工学科 教授	新任
	川上 幸男	芝浦工業大学 システム理工学部 教授	重任
	川嶋 健嗣	東京大学 大学院情報理工学系研究科システム情報学専攻 教授	重任
	金 俊完	東京科学大学 総合研究院未来産業技術研究所 教授	重任
	堺 隆二	川崎重工業株式会社 精密機械ディビジョン 副ディビジョン長	新任
	佐藤 恭一	横浜国立大学 大学院工学研究院 教授	重任
	高岩 昌弘	徳島大学 大学院社会産業理工学研究部 教授	重任
	滝口 英克	油研工業株式会社 取締役 兼 技術本部長	新任
	名倉 忍	コマツ 開発本部油機開発センタ プリンシパル	重任
	土方 聖二	日立建機株式会社 研究・開発本部 先行開発センタ 車体制御システムグループ 主任技師	新任
	藤田 壽憲	東京電機大学 工学部 先端機械工学科 教授	新任
	堀川 昭芳	株式会社コガネイ 開発本部 開発本部長	新任
	矢島 孝視	CKD株式会社 機器事業本部 統括戦略部 部長	新任
	吉田 和弘	東京科学大学 総合研究院未来産業技術研究所 教授	新任
吉成 考正	東京計器株式会社 油圧制御システムカンパニー 技術部 部長	新任	
吉満 俊拓	神奈川工科大学 ロボットメカトロニクス学科 教授	新任	
監 事	浦井 隆宏	ボッシュ・レックスロス株式会社 テクニカルアドバイザー	新任
	佐々木 大輔	香川大学 創造工学部 教授	新任
	野見山 望	株式会社工苑 代表取締役	新任